

ナースセンター運営委員会

委員長：西野 万寿子

1. 活動方針および活動目標

ナースセンター事業（①復職応援セミナー ②看護職のための就職相談会 ③ハローワークとの連携事業 ④リフレッシュ研修 ⑤「活躍できるセカンドステージを」看護のハタラクを応援する講座 ⑥災害に備えるための研修 ⑦デジタル改革関連法に基づく看護職の人材活用システム ⑧看護補助者人材確保）に関する事項について、行政、労働局、関連団体、学校、医師等で人材確保の推進に向け協議を行う。

2. 活動内容（定例委員会・運営委員会）

実施項目 【開催場所】	内 容	開催日 等	委員
定例委員会 【マルイトOBPビル】	ナースセンター事業に関する運営についての協議	全3回	9名

3. 活動実績（定例委員会・運営委員会以外の活動）

実施項目 【開催場所】	内 容	開催日 等	参加者 延べ人数
運営会議 【ナーシングアート大阪】	1) 令和5年度ナースセンター実績報告 2) 令和6年度ナースセンター事業計画 3) デジタル改革関連法に基づく看護職の人材活用システムとNuPS導入とナースセンター事業について	7月10日	14名
運営会議 【マルイトOBPビル】	1) 令和6年度ナースセンター事業中間報告 2) 日本看護協会事業について 3) 他団体への看護職就業に関する協力についての	11月29日	16名
運営会議 【ナーシングアート大阪】	1) 令和6年度ナースセンター事業報告 2) 日本看護協会事業 3) 多団体への看護職就業に関する協力 4) キャリア支援イベント 5) 各委員からの意見交換	2月28日	16名
【活動の概要】 看護師確保対策として復職応援セミナー、就職相談会、ハローワークとの連携事業、また、多様な働き方に柔軟に対応できる施設になるための講座を開講するなど、看護補助者を含む人材確保のために様々な取り組みを実施した。			

4. 課題・その他

看護職の人材確保対策をおこなっているが、「とどけるん」の届出数、求職者の登録数は伸び悩んでいる。人材確保を進めていくためには、ナースセンターの登録数を増やし、就業につなげていくことが課題となる。潜在看護職だけでなく、看護学生の登録してもらえよう広報を行う。また、ハローワークとの連携を強化し、情報共有しながら登録につなげていく必要がある。就業数については、復職応援セミナー、就職相談会を中心にすすめるが、多様な働き方の勤務条件や夜勤の在り方など求人施設への情報提供を行いマッチングの強化を進めることも課題となる。

医師の働き方改革の推進により看護師の負担が増大している現状がある。看護師のタスク・シフト／シェアについては看護補助者の確保対策も課題となっている。看護補助者の確保については、ハローワークと協力し、互いの強みを活かして確保に努めていく。